

MANY

NO.441

令和2年8月13日(毎月第2・4週配信)MANY(Morality Active Network of Youth)

モロロジー青年活動ネットワーク メールマガジン

From 青年育成課

お盆休みの時期が来ました。

本来なら、家族ぐるみでの帰省があり、家族・親戚・友人との再会やお墓参りなど、楽しくて有意義な時期なのですが、今年はコロナ禍のため、いつも通りにいきません。

こんな時期だからやれることは無いのか。例えば、今お住いの町の歴史や文化を再調査したり、近くの神社仏閣・名所を訪ねてみてはいかがでしょうか。

沢山の新発見があるかもしれません。ただし、猛暑の中での体調管理にはお気をつけください。
(土谷和光)

園内のサルスベリの花が咲きました

この暑い時期に園内でよくみられるサルスベリの花が咲きました。サルスベリの漢字「百日紅」の名のとおり、初夏から秋までの長い間、鮮やかな紅色やピンク、白などの花を咲かせる花木です。



サルスベリと名付けられた理由は、その幹は木登りが得意な猿さえも登るのが難しいほどツルツルしていることからです。花が見られる時期は2か月ほどなので、園内に来られた際は是非、ご覧ください。

全国クリーンキャンペーン 開催中

暑さとコロナに負けない。今年のクリーンキャンペーンは、コロナ感染状況を見極めながら、各地で感染防止対策をとり、工夫しながら、開催しています。

京都南区事務所は、鴨川河川敷、七条通周辺を清掃しました。

京都下京区事務所は、五条通の歩道や交差点のゴミ拾いを行いました。京都下京区事務所は、毎月第一土曜日にゴミ拾いを途切れることなく続けています。

山口県南陽事務所は、護国神社の清掃を行いました。この護国神社は、遺族会の方々が毎月行っており、今回は、南陽事務所の皆さんと合同で清掃を行いました。遺族会の方々から「いつもより綺麗になった」と喜んでいただきました。

各地で開催している様子を青年育成課までお知らせください。皆様の報告・写真お待ちしております。



京都下京区事務所



京都南区事務所



南陽事務所

第34回 戦没者追悼国民集会 YouTube ライブ中継

毎年8月15日に開催している「戦死者追悼国民集会」は、新型コロナ感染拡大防止のため、ライブ中継で開催することになりました。

日 時:8月15日(土)10時30分より約2時間予定

視 聴:無 料

<https://www.youtube.com/watch?v=Wxus7AqbMLU>

福井県青年クラブ 第2回オンラインニューモラル勉強会

8月9日(日)福井県青年クラブメンバーで、オンラインニューモラル勉強会を開催しました。ツールは、無料オンラインサービス「たくのむ」を使用しました。



6月21日に初開催した勉強会の継続開催をめざし、日程を早めに決めて、県内にお誘いを掛け2回目を実施しました。

今回は、『ニューモラル』7月号と学習資料をつかって、『『当たり前』ってなんだろう』をテーマに話し合いました。「コロナによって当たり前を考えさせられた」「人と会うことが当たり前ではなくなった」「オンラインによって、今までとは違ったコミュニケーションの取り方になった」など話は尽きませんでした。

課題として、「個人目標を発表しあう」ところまで、時間をとれば、勉強会に深みができると思いました。今後もメンバーは、ファンリテーター兼参加者として経験を積んでいき、同時に数グループで勉強会を開催することを目標にして続けていきます。

<報告:福井県青年代表 土本雅也>

令和専攻塾 開塾記念WEB特別講演会

櫻井よしこ塾長によるWEB講演会を開催します。全国どなたでも視聴できます。ぜひご視聴ください。

演 題:「21世紀の国難を乗り越える～令和日本のあるべき姿～」

視聴期間:9月13日(日)13時～14日(月)12時

視 聴 料:1,000円(税込)

申 込 先:研究所HP(<https://www.morality.jp/>)

領土・主権展示館 企画展 尖閣諸島と日本人

1895年(明治28年)に沖縄県に編入されてから尖閣諸島を開拓した日本人がいました。この企画展では尖閣諸島に関わってきた日本人のロマンとドラマに迫ります。ぜひこの夏休みに家族でご見学ください。

日 時:7月28日(火)～8月30日(日)

会 場:領土・主権展示館(東京都千代田区霞ヶ関)

入 場:無 料(休館日は月曜日)

H P(<http://www.cas.go.jp/jp/ryodo/tenjikan>)

自立した日本人になるために ～「8月15日」を迎えるまえに～

日本人としての自覚を持とう

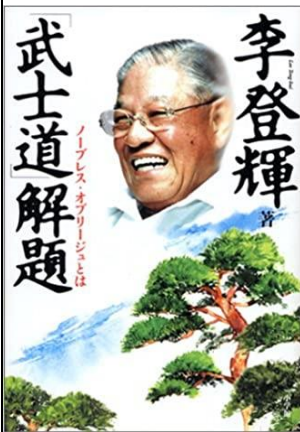
前回のメールマガジンで紹介しました研究所顧問の金美齢さんの著書『愛
国心』は、コロナ禍で見失いかけていた私の心棒を「ズドン」と立て直してく
れました。本書のまえがきから金顧問の熱量のすごさが伝わってきますの
で紹介します。

コロナ禍のさなか、櫻井よしこさんがBSフジの番組で、『みんなで力を合
わせ、この危機を乗り越えようと論説で書いた新聞はありますか』と新型コ
ロナ報道のありかたに疑問を投げかけたそうですが、全く同感です。国家
に甘えることばかり考えるのではなく、どうすればこの危機を乗り越えられ

るのか、自立した個人として自分ができること、社会全体が協力してやるべきことを能動的に考
え、実行することの必要性。新型コロナ騒動は、こうしたことも日本社会、いや、日本人一人ひとりに
突きつけているのではないのでしょうか」

知らず知らずのうちに、国だけに対応を求める心が優先して、自らを問い直し、行動していなかつたのではと、はっとさせられました。





7月30日に李登輝元台湾総統が逝去されました。李登輝氏については、私が研究所に奉職して4年経った頃に刊行された『武士道解題』を読んだときの衝撃を思い起こします。

こちらにもまえがきを紹介します。

敷島の 大和心を 人間はば 朝日に匂ふ 山桜花

「これは、私が歌愛する新渡戸稲造先生の名著『武士道』の中で改めて紹介されている本居宣長の和歌ですが、この『大和心』こそ、日本人が最も誇りに思うべき普遍的真理であり、人類社会がいま直面している危機状況を乗り切っていくために、絶対に必要不可欠な精神的指針なのではないでしょうか。

しかるに、まことに残念なことには、1945年(昭和20年)8月15日以降の日本においては、そのような『大和魂』や『武士道』といった、日本・日本人特有の指導理念や道德規範が、根底からから否定され、足蹴にされ続けてきたのです。」

当時の私は歴史もわかっておらず、「日本精神(リップンチエンシン)」をこの時に知りました。上記のお二人ともに、日本人であるという自覚と誇りを取り戻しなさいと、叱咤激励されているのだと痛感しました。

令和2年度版「子供・若者白書」から

7月31日に公表された今年度版「子供・若者白書」には、次のようなことが記されていました。

子供・若者のうちの約半数が、今までに困難経験があったと思うと回答。その理由は、「人付き合いが苦手」、「何事も否定的に考えてしまった」、「悩みなど相談できなかった」など、自分自身の問題の影響が特に強いと思っている割合が高いということです。

そして、困難経験が改善されたきっかけはというと、「家族や友人の助け」(31.0%)、「時間の経過で状況が変化したこと」(24.2%)でした。

しかし、悩み事や困ったことの解決、改善方法をどのように調べるかという、最も高いのは、「インターネットで検索する」(58.5%)でした。これは、「家族・親戚」(34.5%)「友人・知人」(34.1%)よりも高い結果になりました。

私たちは、この現状を踏まえつつ、子供や若者が、不確かな情報や根本的な改善に結びつかないような手法や方法に安易に飛びつかないように導いていくことが、道德教育を推進する大きな課題だと思えます。

困難に出会わない人はいません。困難をどのように受けとめ、解決に向かって力を尽くすかは、聖

賢の知恵に学び、先人の生き方を手立てに活路を見いだすことを私たちは日ごろから学んでいます。インターネットによる知識より、懸命に生きてきた先人たちの人生に素直に心を向けていきたいものです。

「覚悟」をもって運命を受け入れる

最後に、先述の『愛国心』の金顧問のメッセージをしっかりと受け止めたいと思います。

「腹をくくって、自分の人生と向き合い、自分で決断をする。失敗を国や社会のせいにするのではなく、自分で責任を取り、運命を受け入れる。

どの時代の、どの国に、どの親のもとに生まれてくるかは決められません。その運命を受け入れてからこそ、そのことをどう受け止めて背負って生きていくかを考えられる。(中略)

何不自由なく暮らせる平和で豊かな国に生まれた人は、その状況を作り出すまでに先人たちがどのような苦勞をしたか、誰も教えてくれなければ、感謝の気持ちは湧いてきません。国のために命を落とした人に手を合わせることもできない国では、『先人への感謝の心』など持てるはずもありません。」

モラロジーを学ぶ青年の皆様、8月15日を前に、もう一度、我が国の先人が懸けた命の歴史に向き合ってみませんか。そこから真に自立した日本人となり、この先の見えない困難を乗り越える力が生みだされていくと思います。

＜青年育成課 森田智＞

第6回 感謝の心をつなぐ 青年フォーラム YouTube ライブ中継のお知らせ

毎年、靖国神社で若者有志が企画している青年フォーラムが、今年はライブ中継されます。「感謝の心をつなぐ青年フォーラム」と検索ください。

モラロジー青年クラブの皆様にはぜひこの機会にご視聴ください。(無料)

日 時:8月15日(土)13時30分～15時15分

URL: <https://youtu.be/1DYHKyw2zyo>

【お知らせ】

次号は、令和2年8月27日です

基本的に毎月第2、4週配信！

活動情報、ご意見、ご感想など声をお聞かせください。

MANY 事務局へ

[発行・編集]

公益財団法人モラロジー研究所 青年育成課

(<https://www.facebook.com/moralogy.many>)

住所:〒277-8654 千葉県柏市光ヶ丘 2-1-1

[TEL:04-7173-3312](tel:04-7173-3312) FAX:04-7173-3259

※掲載記事の無断での転載、再配布はお断りいたします。事務局までご一報ください。